

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : ハンドクリーナー

製品コード : 0893 900 0

## 供給者情報

供給者の会社名称 : Wuerth Japan Co., Ltd.  
MT Building住所 : 33 Sanmaicho, Kanagawa-ku  
Yokohama, Kanagawa 221-0862

電話番号 : 045-488-4186

電子メールアドレス : prodsafe@wuerth.com

緊急連絡電話番号 : 045-534-4940

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化粧品

使用上の制限 :

本品は身の回り用品ないしは化粧品であり、消費者などの使用者が通常および想定内の使用条件下において安全です。化粧品および消費財は各国の法令により特別に定義されており、消費者向け安全データシート（SDS）の規制対象外となっています。本品は危険有害物質と見做されていないため、本安全データシートに事業所の現場環境における本製品の安全な取り扱いおよび正しい使用、ならびに大規模な流出といった異常かつ意図しない暴露に関する重要な情報が記載されています。本安全データシートは、従業員などの本品の使用者が入手可能な場所に保管してください。特定の用途に関する手引については、パッケージまたは説明書に記載の情報をご参照ください。

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性又は  
眼刺激性 : 区分 1

水生環境有害性（急性） : 区分 3

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

水生環境有害性（長期間） : 区分 3

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H318 重篤な眼の損傷。  
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き :

**安全対策:**  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護眼鏡／保護面を着用すること。

**応急措置:**  
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

**廃棄:**  
P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
エトキシ化イソトリデカノール	69011-36-5	3.976	
スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩	97489-15-1	>= 3 - < 10	
グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド	110615-47-9	>= 1 - < 2.5	5-3641
ビターオレンジ果皮エキス	72968-50-4	>= 0.1 - < 0.25	
(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン	5989-27-5	>= 0.1 - < 0.25	3-2245, 7-988, 8-498
二酸化チタン	13463-67-7	>= 0.1 - < 1	1-558, 5-5225

## ハンドクリーナー

版番号 5.0      改訂日: 09/10/2019      整理番号: 669610-00003      前回改訂日: 02/20/2019  
 初回作成日: 06/11/2012

酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル	88-41-5	>= 0.0025 - < 0.025	3-2345, 3-2311, 3-2356
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	>= 0.0025 - < 0.025	2-1679
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	26172-55-4	>= 0.0003 - < 0.0015	9-378, 9-378

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス** : 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医師の診察を受ける。  
 症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。
- 吸入した場合** : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所へ移動する。  
 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 接触した場合、直ちに皮膚を多量の水で洗い流す。  
 汚染した衣服および靴を脱ぐ。  
 医療処置を受ける。  
 再使用前に衣服を洗う。  
 靴を再使用する前に完全に洗う。
- 眼に入った場合** : 接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間目を洗い流す。  
 簡単にできる場合には、コンタクトレンズを取り外す。  
 直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合** : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。  
 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。  
 水で口をよくすすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状** : 重篤な眼の損傷。
- 応急措置をする者の保護** : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性のある場合は、項目 8 の適切な個人保護具を参照のこと（項目 8 を参照）。
- 医師に対する特別な注意事項** : 支持療法および対症療法を受けること。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤** : 水噴霧  
 耐アルコール泡消火剤  
 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

- 粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
リンの酸化物  
金属酸化物  
硫酸化物
- 特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。  
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。  
区域より退避させること。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。  
保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。  
汚染された洗浄水を保管し、処分する。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性な吸収材で吸収させる。  
多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。  
漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。  
本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。  
本 SDS の項目 13 および 15 において、地方自治体および国の法規制の記載あり。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

- 技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。
- 局所排気, 全体換気 : 適切な換気装置の下でのみ使用する。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚や衣服に付けない。  
蒸気やミストの吸い込みを避けること。  
飲み込まない。  
眼との接触を避ける。  
職場曝露調査の結果に基づき、産業性の衛生および安全性の実行規定に従い取り扱うこと  
容器を密閉しておくこと。  
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
- 接触回避 : なし。
- 衛生対策 : 通常の使用中に化学物質へのばく露の可能性がある場合は、作業場所の近くにアイフラッシングシステムおよび安全シャワーを設置してください。  
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。  
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。  
栓をしっかりと閉める。  
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。
- 推奨された保管温度 : > 0 ° C
- 保管期間 : 24 ヶ月
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
二酸化チタン	13463-67-7	OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
詳細情報: 第 2 種粉塵				
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

## ハンドクリーナー

版番号 5.0      改訂日: 09/10/2019      整理番号: 669610-00003      前回改訂日: 02/20/2019  
 初回作成日: 06/11/2012

詳細情報: 第2種粉塵			
	TWA	10 mg/m <sup>3</sup> (二酸化チタン)	ACGIH

これら物質は製品内でしっかりと結合しているため、粉塵吸引の危険性の原因にはならない。  
二酸化チタン

**設備対策** : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。  
作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

### 保護具

**呼吸用保護具** : 適切な局所排気装置が利用できない場合、またはばく露評価で推奨ガイドラインの範囲外のばく露が示された場合は、呼吸保護器具を使用しましょう。

フィルタータイプ : 微粒子用と有機蒸気用の複合タイプ

手の保護具

備考 : 必要なし

**眼の保護具** : 次の個人保護具を着用する：  
耐化学薬品性保護めがねをかけなければならない。  
飛散が起こりそうな場合に着用：  
フェイスシールド

**皮膚及び身体の保護具** : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。  
不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用することで皮膚への接触を避ける。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 : ペースト

色 : 着色

臭い : 特徴的

臭いのしきい(閾)値 : データなし

pH : 7

融点・凝固点 : データなし

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

---

沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火しない。
蒸発速度	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: 非該当
可燃性 (液体)	: データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度	: データなし
密度	: 1 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
溶解度	
水溶性	: 完全に溶ける
n-オクタノール／水分配係数	: 非該当
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	
粘度 (粘性率)	: 70,000 mPa. s (40 ° C)
動粘度 (動粘性率)	: データなし
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒子サイズ	: 非該当

---

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 知見なし。

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

混触危険物質 : なし。

危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。

**11. 有害性情報**

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入  
皮膚接触  
摂取  
眼に入った場合

**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**製品:**

急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法

**成分:****エトキシ化イソトリデカノール:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

**スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 500 - 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性 (経皮) : LD50 (マウス): > 2,000 mg/kg  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

**ビターオレンジ果皮エキス:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 8,500 mg/kg

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**



## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 二酸化チタン:**
- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 6.82 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**
- 急性毒性（経口） : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg
- ドデシル硫酸ナトリウム:**
- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 1,200 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**
- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オス): > 50 - 300 mg/kg  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 0.05 - 0.5 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: OECD 試験ガイドライン 403  
アセスメント: 呼吸器官に腐食性である。  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ, オス): > 50 - 200 mg/kg  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

**成分:****エトキシ化イソトリデカノール:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし

**スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激性

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激性

**ビターオレンジ果皮エキス:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激性

**二酸化チタン:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

**酢酸 2-(1, 1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激性

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404

## ハンドクリーナー

版番号 5.0 改訂日 09/10/2019 整理番号 669610-00003 前回改訂日: 02/20/2019  
初回作成日: 06/11/2012

---

結果 : 4 時間以下の暴露で腐食性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

重篤な眼の損傷。

**成分:****エトキシ化イソトリデカノール:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に対する不可逆的影響  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に対する不可逆的影響  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に対する不可逆的影響  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**ビターオレンジ果皮エキス:**

種 : ラット  
結果 : 眼への刺激なし

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**二酸化チタン:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**酢酸 2-(1, 1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に対する不可逆的影響

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に対する不可逆的影響  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**呼吸器感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****スルフォン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

試験タイプ : マキシマイゼーション試験  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
結果 : 陰性

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

試験タイプ : ビューラー法  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
方法 : OECD 試験ガイドライン 406  
結果 : 陰性

**ビターオレンジ果皮エキス:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : マウス  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429  
結果 : 陽性

アセスメント : ヒトへの皮膚感作性の兆候または証拠があり。

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : マウス  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429  
結果 : 陽性

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

アセスメント : 人間の皮膚に低率から中程度の過敏性が発現する可能性または証拠がある。

**二酸化チタン:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : マウス  
結果 : 陰性

**酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

試験タイプ : ビューラー法  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
結果 : 陰性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

試験タイプ : マキシマイゼーション試験  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
結果 : 陰性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

試験タイプ : マキシマイゼーション試験  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
方法 : OECD 試験ガイドライン 406  
結果 : 陽性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

アセスメント : 人間の皮膚に高率の過敏性が発現する可能性または証拠がある。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)  
種: マウス

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 473  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)  
種: マウス  
投与経路: 腹腔内注射  
方法: OECD 試験ガイドライン 474  
結果: 陰性

**ビターオレンジ果皮エキス:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

**(4R)-p-メンタ-1,8-ジエン:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験  
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳類 生体内アルカリコメットアッセイ  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

**二酸化チタン:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験  
種: マウス  
結果: 陰性

**酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: げっ歯類優性致死試験 (胚細胞) (in vivo)  
種: マウス  
投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)  
結果: 陽性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 476  
結果: 陽性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
結果: 陽性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 変異原性 (in vivo 哺乳類骨髓細胞遺伝学的試験、染色体分析)  
種: マウス  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 475  
結果: 不明確  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)  
種: マウス  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 474  
結果: 陰性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

種 : ラット  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 2年  
結果 : 陰性

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

種 : マウス  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 103週  
結果 : 陰性

**二酸化チタン:**

種 : ラット  
投与経路 : 吸入(粉じん/ミスト/煙)  
曝露時間 : 2年  
方法 : OECD 試験ガイドライン 453  
結果 : 陽性  
備考 : 作用機序はヒトでは関連がないと考えられる。

発がん性 - アセスメント : 動物実験において吸入による発がん性の限定的な証拠がある

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

種 : ラット  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 2年  
方法 : OECD 試験ガイドライン 453  
結果 : 陰性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

種 : ラット  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 24ヶ月  
方法 : OECD 試験ガイドライン 453  
結果 : 陰性  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。



## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

**成分:****スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世代生殖毒性試験  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発生毒性スクリーニング試験  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 421  
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 414  
結果: 陰性

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
結果: 陰性

**酢酸 2-(1, 1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 422  
結果: 陰性  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験  
種: ラット  
投与経路: 飲み込んだ場合  
方法: OECD 試験ガイドライン 422  
結果: 陰性

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

### ドデシル硫酸ナトリウム:

- 妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世代生殖毒性試験  
 種: ラット  
 投与経路: 飲み込んだ場合  
 方法: OECD 試験ガイドライン 416  
 結果: 陰性  
 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育  
 種: ラット  
 投与経路: 飲み込んだ場合  
 結果: 陰性  
 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

### 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:

- 妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世代生殖毒性試験  
 種: ラット  
 投与経路: 飲み込んだ場合  
 方法: OECD 試験ガイドライン 416  
 結果: 陰性  
 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育  
 種: ウサギ  
 投与経路: 飲み込んだ場合  
 方法: OECD 試験ガイドライン 414  
 結果: 陰性  
 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

### 特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

### 特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

### 成分:

#### (4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:

- アセスメント : 濃度範囲 100 mg/kg bw 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

### 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:

- アセスメント : 濃度範囲 100 mg/kg bw 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

## 反復投与毒性

成分:

## スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:

種 : ラット  
NOAEL :  $\geq 4,000$  mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 52 週

## グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:

種 : ラット  
NOAEL : 1,000 mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 90 Days  
方法 : 指令 67/548/EEC, Annex V, B. 26.

## (4R)-p-メンタ-1,8-ジエン:

種 : ラット, オス  
NOAEL : 5 mg/kg  
LOAEL : 30 mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 13 週

## 二酸化チタン:

種 : ラット  
NOAEL : 24,000 mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 28 Days

種 : ラット  
NOAEL : 10 mg/m<sup>3</sup>  
投与経路 : 吸入(粉じん/ミスト/煙)  
曝露時間 : 2 年

## 酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:

種 : ラット  
NOAEL : 437 mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 5 週  
方法 : OECD 試験ガイドライン 422  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

## ドデシル硫酸ナトリウム:

種 : ラット  
NOAEL : 488 mg/kg

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 90 Days  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

種 : 犬  
NOAEL : > 10 mg/kg  
投与経路 : 飲み込んだ場合  
曝露時間 : 90 Days  
方法 : OECD 試験ガイドライン 409  
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

**吸引性呼吸器有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****ビターオレンジ果皮エキス:**

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

**(4R)-p-メンタ-1,8-ジエン:**

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

**12. 環境影響情報****生態毒性****成分:****エトキシ化イソトリデカノール:**

魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): > 1 - 10 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: DIN (ドイツ工業規格) 38412

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1 - 10 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50: > 1 - 10 mg/l  
曝露時間: 72 h

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (魚類): > 0.1 - 1 mg/l

微生物に対する毒性 : EC10: > 2,500 mg/l  
曝露時間: 17 h  
方法: DIN 38 412 Part 8

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

**スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

- 魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): 5.5 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 9.2 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202
- 藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 119.4 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- EC10 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 60 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 2 mg/l  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 204
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 22 d
- 微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 1,000 mg/l  
曝露時間: 16 h  
方法: DIN 38 412 Part 8

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

- 魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 2.95 mg/l  
曝露時間: 96 h
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 7 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 12.5 mg/l  
曝露時間: 72 h
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 1.8 mg/l  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 204
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC10 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.76 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
- 微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 5,000

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

mg/l

曝露時間: 16 h

方法: DIN 38 412 Part 8

**ビターオレンジ果皮エキス:**

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EL50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 1.1 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
被験物質: 水性画分  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : EL50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 8 mg/l  
曝露時間: 72 h  
被験物質: 水性画分  
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EL10 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 5.1 mg/l

曝露時間: 72 h

被験物質: 水性画分

方法: OECD 試験ガイドライン 201

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

魚毒性 : LC50 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 702  $\mu$ g/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 307  $\mu$ g/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.32 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EC10 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.174 mg/l

曝露時間: 72 h

方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (急性水生毒性) : 1

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC10 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 153  $\mu$ g/l  
に対する毒性 (慢性毒性)  
曝露時間: 21 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 211

M-ファクター (慢性水生毒性) : 1

微生物に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**二酸化チタン:**

- 魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): > 10,000 mg/l  
曝露時間: 72 h
- 微生物に対する毒性 : EC50: > 1,000 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209

**酢酸 2-(1,1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

- 魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 5.6 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 1.  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 17 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 2.  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 4.2 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.57 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

- 魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 29 mg/l  
曝露時間: 96 h
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 5.55 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 120 mg/l  
曝露時間: 72 h
- 最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 30 mg/l  
曝露時間: 72 h
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): >= 1.357 mg/l  
曝露時間: 42 d
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 0.88 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 7 d
- 微生物に対する毒性 : EC50: 135 mg/l  
曝露時間: 3 h

### 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:

- 魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 0.1 - 1 mg/l  
曝露時間: 96 h  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 0.01 - 0.1 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): > 0.001 - 0.01 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- 最大無影響濃度 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): > 0.001 - 0.01 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- M-ファクター (急性水生毒性) : 100
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): > 0.01 - 0.1 mg/l  
曝露時間: 36 d  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 0.001 - 0.01 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 211



## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

M-ファクター (慢性水生毒性) : 10

微生物に対する毒性 : EC50: > 1 - 10 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**残留性・分解性****成分:****エトキシ化イソトリデカノール:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: > 60 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

**スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: 78 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

**グルコピラノース、オリゴメリック C10-16 グリコサイド:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: 88 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 301D

**ビターオレンジ果皮エキス:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: 71.4 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

**酢酸 2-(1, 1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
生分解: 43 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 301F

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: 95 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 301B

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
生分解: 62 %  
曝露時間: 29 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

**生体蓄積性****成分:****スルホン酸, C14-17-sec-アルケン, ナトリウム塩:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.2

**ビターオレンジ果皮エキス:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: > 4  
備考: 計算による方法

**(4R)-p-メンタ-1, 8-ジエン:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 4.38

**酢酸 2-(1, 1-ジメチルエチル)シクロヘキシル:**

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 203  
方法: OECD 試験ガイドライン 305  
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

**ドデシル硫酸ナトリウム:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.83

**5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン:**

生体蓄積性 : 種: Lepomis macrochirus (ブルーギル)  
生物濃縮因子 (BCF) : 41 - 54

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.401

**土壌中の移動性**

データなし

## ハンドクリーナー

版番号 5.0      改訂日: 09/10/2019      整理番号: 669610-00003      前回改訂日: 02/20/2019  
 初回作成日: 06/11/2012

### オゾン層への有害性

非該当

### 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

- 残余廃棄物 : 地方自治体の規制に従い処分する。  
 汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
 特に指定が無い場合、未使用品として廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

#### 航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

#### 海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 供給された状態の製品には非該当。

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

#### 化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
α-アルキル (C=12~15) -ω-ヒドロキシポリ (オキシエチレン) (数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	189
tert-ブチルシクロヘキシル=アセート	232
ナトリウム=アルキル (C=8~18) =スルファート	214

## ハンドクリーナー

版番号  
5.0

改訂日:  
09/10/2019

整理番号:  
669610-00003

前回改訂日: 02/20/2019  
初回作成日: 06/11/2012

### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
酸化チタン (I V)	191	>=0.1 - <1

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

#### 特定化学物質障害予防規則

非該当

#### 鉛中毒予防規則

非該当

#### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

#### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

#### 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

#### 毒物及び劇物取締法

非該当

#### 化学物質排出把握管理促進法

#### 第 1 種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 1 2 から 1 5 までのもの及びその混合物に限る。）	407	4.0

#### 高圧ガス保安法

非該当

## ハンドクリーナー

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 02/20/2019  
5.0 09/10/2019 669610-00003 初回作成日: 06/11/2012

---

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

---

**16. その他の情報****詳細情報**

引用文献 : 自社技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem  
ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/>の検索結果

以前バージョンから変更された項目は本文書では 2 本線で強調表示されています。

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

日本産業衛生学会 許容濃度 : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度等の勧告

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

日本産業衛生学会 許容濃度 : 許容濃度等の勧告 / OEL-M

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考え

## ハンドクリーナー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 02/20/2019
5.0	09/10/2019	669610-00003	初回作成日: 06/11/2012

られる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KEGI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量(半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録(REACH)に関する規則(EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDSの頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA